

札幌社保協 FAXニュース

2006年 11月7日(火)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

11月の国保・介護110番
は30日(木)です

保育制度の充実 保育予算の増額を！

—札幌保育連・保育労組が署名を街頭で訴え—



保育制度の充実、国と自治体の保育予算の増額、待機児童・超過入所の解決、民間保育園への助成増額、公立保育園の民営化反対などを訴えて、札幌保育連絡会と保育労組は共同で11月4日の午後、三越前で宣伝と署名を行いました。

行動には木下康典保育連会長をはじめ、父母、保育士ら50人が参加し、繁華街を通行する人々に、熱心に署名を訴えました。

子どものためにもっと良い保育ができるようにしてほしい！

西区や東区などの保育園で働く保育士が、先の国会で決まり10月から制度開始となった「認定子ども園」が極めて不十分な内容であることを紹介したり、保育士が足りず、またパート労働者が多い中で、低賃金でもがんばっていること、子供のために保育にもっとお金をかけて、保育環境を良くしてほしいと訴えました。

父母の代表も、待機児童が数百人もいてなかなか保育所に入れにくいこと、少子化の中で、安心して子どもを生み・育てられるように国と市は保育予算をふやしてほしい、と次々と訴えました。

署名553筆寄せられる

保育士・父母らのお願いに、通行人の多くも足を止めて署名に応じてくれ、1時間の行動で、553筆が集まりました。



署名にご協力下さい

各団体にも送付している保育署名は、集まり次第、保育労組へお渡し下さい。

対市交渉

保育連・保育労組の07年度予算に向けた市との交渉です。

11月21日(火) 午後6:30~
札幌市民会館2階1号室

生活保護不服審査請求 一道が認め、市の処分取り消し

豊平区の80歳の男性が、年金を借金の担保にしていたので、実際には支給されていないのに、生活保護受給の時に収入認定をされました。相談を受けた豊平区守る会と道生連が支援して、道へ3月に不服審査請求をしていました。

男性は妻と2人で月額約20万円の年金を受給していましたが、借金の返済に年金全額が充てられていました。今年1月の生活保護申請の際に、年金を担保にして借金をしたと却下。2月に再度申請した際には、生活が逼迫していると保護受給は認めたものの、年金の一部を収入認定し保護費から差し引いたものです。

道は10/20に不服審査請求を全面的に認め、市の処分取り消しを決定しました。11月6日、本人と守る会の代表が区役所保護課に出向き、区は「裁定に従う」と、保護費から引いた41万円を支給しました。

豊平区不支給年金の収入認定事件

北九州生活保護 実態調査・報告会

5月におきた生活保護申請を何度も断られた男性の餓死事件。北九州市では、驚くようなひどい保護行政が行われています。その実態と背景は？

報告者

木下 武徳 北星大学講師

三浦 誠一 道生連会長

斉藤 浩司 札幌社保協事務局長

●札幌市の生活保護行政の報告

11月28日(火) 18:30~
菊水ビル 4階大会議室